

総踊りでファイナーレ YOSAKOIまつり



県内外から2日間で延べ約80団体、2千人の踊り手が集結した「第15回うつくしまYOSAKOIまつり」は13日、メイン会場の郡山市熱海町の郡山ユラックス熱海でまつりを締めくくると総踊りが繰り広げられた。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故からの復興を願い、出演者がファイナーレを飾った。

審査では大賞に水戸藩YOSAKOI連、準大賞に宮城学院女子大よさこい部Possoballare?MG、3位の福島民友新聞社賞に常陸國太子連が選ばれた。4位に、県勢の尚志高YOSAKOI部ミネルバが輝いた。同まつりは、福島民友新

2日間のファイナーレを飾る総踊りで、閉幕を惜しみながら演舞する踊り手たち―13日午後、郡山市・郡山ユラックス熱海

聞社、NPOうつくしまYOSAKOI振興会、同まつりを広める会でつくる実行委の主催。

大賞に輝いた水戸藩YOSAKOI連の星和斗代表(32)は「一生懸命さや必死さを伝えることができた」と喜びを語った。4位の尚志高YOSAKOI部ミネルバの加藤ほか部長(18)は「練習の成果を発揮できた。部員が心一つになれた」と笑顔で話した。閉会式では入賞5団体を表彰。長尾トモ子大会長らが表彰状を手渡した。

式終了後、入賞団体などが勇壮な演舞を披露。最後に出場チーム全員で、息の合った総踊りを披露した。

大賞(知事賞) 水戸藩YOSAKOI連▽準大賞(郡山市長賞) 宮城学院女子大よさこい部Possoballare?MG▽3位(福島民友新聞社賞) 常陸國太子連▽4位(実行委員長賞) 尚志高YOSAKOI部ミネルバ▽5位(大会長賞) さめぎ舞人